

●令和5年度に地域と学校の連携・協働体制構築事業で重点的に取り組む課題に応じた目標及び評価等

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
松戸市	学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	地域学校協働本部事業を通じ継続的な学校支援を行うためには、事業の中核を担う地域コーディネーターの確保が必須となっている。 本市の地域コーディネーターは、長期間に亘り活動していただいている方が多く、新しく地域コーディネーターを育成し事業を継続することが課題となっている。	地域コーディネーターを育成するため、候補者への引継ぎ体制の構築、或いは関連講座への参加を促す。	地域コーディネーターを育成し、人員を確保することで継続的な学校支援が行われることを目指す。	地域コーディネーターの人数	3	人	4	4	3 根木内小学校区において、新たに地域コーディネーターを配置し、継続的な学校支援に向けての取組が開始されたことは成果である。一方で、現地域コーディネーターを引き継ぐ者の確保・育成は、引き続き検討すべき課題である。

- 5 本年度の目標を大きく上回り、設定していた課題が解決した
- 4 本年度の目標を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が見られた
- 3 本年度の目標を達成し、課題の改善が見られた
- 2 本年度の目標を下回り、取組の工夫・改善が求められる
- 1 本年度の目標を大きく下回り、取組の根本的な見直し求められる